

成長産業

■問い合わせ先
(医療機器、水素・燃料電池関連産業)
成長産業推進課 TEL 055-223-1565
(P2G システム)
新エネルギーシステム推進課 TEL 055-234-5268

本県の主力産業である機械電子産業の企業は、産業用ロボットや半導体の製造を支える高度な技術を持っています。これらの企業が培ってきた技術を生かし、今後成長が期待される医療機器関連産業や水素・燃料電池関連産業、航空宇宙防衛関連産業への進出を支援しています。

安定した成長が見込まれる産業分野へ進出する企業が増え、それらの企業が県内に集積することで、山梨は経済が継続して発展する地域となります。

医療機器

高度な技術を持つものづくり企業に、医療機器関連分野への進出を促し、県内一帯に集積させる「メディカル・デバイス・コリドー構想」の実現を目指しています。

メディカル・デバイス・コリドー推進センターを拠点に、法規制への対応、資金調達、販路拡大など、企業に寄り添った息の長い支援を行っています。医学部を擁する山梨大学とも連携し、本県の医療機器関連産業をけん引する技術者を育成しています。

令和5年11月からは、半導体受託製造（ファウンドリー）の医療機器版で、医療機器製造の受託拠点を形成する「全県ファウンドリー化」を進めています。また、世界最大の市場規模を誇る米国への進出を視野に取り組んでいます。

本県企業の収益拡大のみならず、先進的な医療機器の製造を担うことで、医療の質の向上にも貢献していきます。



半導体事業で培った技術を活用して医療機器関連分野へ進出した企業



水素・燃料電池

再生可能エネルギー（再エネ）で水素を製造するパワー・ツー・ガス（P2G）システムの開発に、民間企業と共に取り組んでいます。「やまなしモデル P2G システム」は、世界最高効率の電解質膜を用いた装置を採用し、小型でシンプルな構成でありながら、連結することで大容量化にも対応できることが特徴です。県はこの P2G システムを国内外に広く展開していきます。

水素は、カーボンニュートラル実現に向けた鍵となるエネルギーであることに加え、原料としても活用が可能であることから、幅広い産業分野で利用拡大が見込まれています。

本県は、世界最高水準の研究機関である山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センターをはじめとする研究開発拠点が集積しています。また、甲府市の米倉山に開設した「米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ(Nesrad)」では、世界最先端の技術者が交流しながら、日々新たな挑戦が進められています。

こうした強みを生かし、水素・燃料電池関連の企業が集積し、県内経済をけん引する基幹産業に育つよう取り組んでいます。



米倉山（甲府市）に設置されている P2G システム

TRY! YAMANASHI!

■問い合わせ先
新事業チャレンジ推進グループ TEL 055-223-1514

近い将来予定されているリニア開業を見据え、本県は「テストベッド*の聖地」を目指した環境づくりを進めています。これまでオール山梨で支援した実証実験の中には、全国展開を成し遂げたケースもあります。こうした動きをさらに加速させるため、実証実験後の本格的な事業展開をサポートする事業も始まりました。また、地域の課題解決を目指し、新たな事業に挑戦する人と支援する人とをつなぐプラットフォームも構築しました。

山梨県は、未来へ果敢に挑戦するスタートアップ（新興企業）から選ばれる場として注目を集めています。

*実際の運用環境に近い状態で先端技術の実証実験を行う場

実証実験を伴走支援で全力サポート

本県は、豊かな自然環境に恵まれたゆとりある空間、中山間地域をはじめとする多彩な実証フィールドなど、テストベッドに適した高いポテンシャルがあります。また、大都市圏とのアクセスも容易で、リニアが開業すると、劇的な時間短縮が実現します。こうした優位性を生かし、県は令和3年度から「TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業」を実施し、多くのプロジェクトを呼び込んでいます。この事業は、補助金による金銭的支援のみならず、関係機関との連携や技術面のサポートなどに県が積極的に関与する伴走支援が特徴です。令和6年度までに、43件のプロジェクトを支援してきました。



中山間地域の物流の課題を解決するドローン配送の実証実験（小菅村）



エネルギーや水など既存のライフラインに依存しない完全オフグリッド環境の実証フィールド（北杜市）



サポートした企業のドローンが石川県輪島市の被災地で活躍

社会実装までサポートし全国展開へ

令和6年度から、これまで「実証実験サポート事業」などの支援事業で採択した企業を対象に、県内での本格的な事業展開を支援する「TRY! YAMANASHI! 社会実装サポート事業」も始めました。

第1期で採択された企業の一つ INNFRRA 株式会社は、水を浄化して再利用する独自のシステムを移動可能なコンテナに組み込み、災害時だけでなく平常時にも利用できる環境を実現しようと取り組んでいます。水循環システムは、県内の道の駅などへの設置を進めており、全国展開も視野に挑戦が続けられています。



水循環システムを使ったコンテナのイメージ

あらゆる挑戦を支援

地域課題を解決しようと頑張るあらゆる挑戦者を応援する「新事業共創プラットフォーム TRY! YAMANASHI!」を始動しました。

さまざまな支援機関や金融機関が組織の枠を越えて連携し、新たな事業の創出に向けた手厚い伴走支援を提供します。成長を遂げた企業が次世代の挑戦者を支援することで、新たな価値が次々と生み出される環境をつくります。

